

小林珍雄 ちんきゆう 宗教學・政治學者。明治二十五年二月一日神奈川県
 生乳、昭和五十五年四月十日歿（一九〇二—八〇）。大正十五年東京帝國大
 學法學部卒。上智大學教授、中村女子高校校長。雜誌『望樓』（昭和
 二十一年四月十五日ソフィア書院）創刊編輯。
 譯書、カール・プレーゲル著『現代宗教作家論』（昭和十七年十
 月）二十日甲寫書林『現代カトリック文藝叢書』（ガブリエル・タル
 下著『社會法則』（昭和十八年一月）二十五日創元社『哲學叢書』（
 ハッセン著『現代思潮』（昭和十八年十一月）日ルーベルト・エンゲ
 ルト書店）、デュモリン著『告白録』、聖アウグスチヌス『回心への
 道』（昭和二十一年八月五日上智學院出版部『Congregatio Mariana』）
 同『近代思想と基督教』（戸川敬一共譯、昭和二十二年十月）日ルー
 ーベルト・エンゲルト書店）、ジャック・マリタン著『ラランヌ哲学
 者の見たアメリカ』（昭和二十二年十一月十五日荒地出版社）等。著
 書『ヴァチカン市國』（昭和二十一年八月一日中央出版社）、『法王
 廳と國際政治』（昭和二十四年十一月二十日岩波書店）『岩波新書』（
 『人生読本』三）（合著・日本放送協會編、昭和二十九年六月）二十五
 日春陽堂書店）、『某月某日』（合著・湧口茂輝編、昭和二十一年四
 月）二十五日日本經濟新聞社）、『法王
 庁』（昭和四十一年八月）二十日岩波書
 店『岩波新書』（等）。

